

私服で旅客にまぎれた監視はやめろ!

乗務員の皆さん！例年にない猛暑が続く中、大変ご苦労様です。

夏の多客期の中、大阪第二運輸所の管理者は、私服で「代用証」を所持し、旅客にまぎれて乗務員の行動を監視し、訓練どおりにしてないことや、車内の歩行速度にまでイチャモンをつけてきました。

夏の時期は不慣れな旅客への案内も多く発生します。そのような忙しい最中に色々言われても一生懸命やってる乗務員の業務の邪魔になり業務妨害となるだけです。

特に、私たちJR東海労の組合員に対しては、計画的に乗車し、恣意的な指摘を行ってきました。業務上の指導をしている姿を見せながら組織への介入を行っているのです。

私たちは現場で抗議を行いました。川嶋副所長は「いつも君らは一方的に主張するだけや」と労働組合の主張・抗議を真摯に聞こうとはしませんでした。また東海労関西地本は関西支社にも抗議しましたが「会社として必要と判断してる」と答えるだけです。

皆さん！こんな会社の姿勢を許せますか！？

私服での監視は、何も夏の時期や私たちに限ってのことではありません。普段の通勤時や抜き打ちでも行われています。

乗務員が真面目に業務を行っている姿勢をなぜ会社は信用しないのでしょうか。何でも「マニュアルどおり」「基本どおり」を強要しています。私たち現場の社員を人間扱いせずロボットにでもなれと言うのでしょうか。

管理者はコソコソせずに、 制服着て旅客の案内も率先して行え!

もし、車掌業務を見たいなら制服で乗車し、車掌と一緒にホームや車内で旅客の案内を行えばいいのです。まさか「旅客の案内」は助役の業務に入っていないと言うんじゃないでしょうね？！

職場でも挨拶しない管理者はたくさんいます。大二運の営業の責任者でもそういった姿勢に乗務員から不満が出ていることはご本人は知ってるのでしょうか。乗務員の行動を見る前に、まずは己の姿勢を見直す必要があるのではないのでしょうか！

私たちはもっと仕事のしやすい職場を目指しています。管理者の目を気にしながらでは仕事に集中出来ません。言いたいことを堂々と言える真の明るい職場にするために、おかしいことはおかしいと言いましょ。

これからも会社のおかしいことがあれば東海労の役員に言ってください。

